

第5回丹沢大山保全緊急対策検討委員会 議事録

- <日時> 平成18年5月16日(火) 午後3:00~5:00
- <場所> プロミティ厚木 D会議室
- <出席者> 委員 鈴木雅一委員長、石川芳治委員、羽山伸一委員、富村周平委員
伊藤雅道委員、中村道也委員
- オブザーバー 緑政課 稲本課長代理
森林課 森林整備班 十鳥主査
県央地域県政総合センター 農政部森林課 内海課長
自然環境保全センター 角田部長、山崎部長
- 事務局 自然環境保全センター 岩崎所長、岩見部長、小川課長
山根専門研究員、内山主任研究員、井田主査
アジア航測(株) 小川、竹内

主な意見

<p>平成18年度試験施工の内容について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・工法のほかに面的な配置などの施工の仕方もあるため、今年度は工種を減らして配置等に焦点をあてたらどうか ・ネットで覆うものは、そのままでは、堆積したリターが土壌化に生かされないため、工夫が必要である。 ・面的対策のモニタリングをどう行うか、検討も必要である ・最終的にはシカ対策も生息環境管理も含めた全体の対策となるべきである ・既設の植生保護柵の耐久性を把握しなければならないのでは。設置基数が増えるほど維持管理コストがかかるため、保護柵の設置数量に限られる可能性がある ・保護柵の維持管理は、NPOの活用も考えてもらってよいのでは。 ・人工林での保護柵設置経験も踏まえて検討したらどうか ・大きく保護柵を囲んでその中の微地形に応じて部分的に筋工やリター捕捉工を設置したらどうか
<p>平成19年度以降の取り組みについて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・この委員会で検討している流域総合保全推進プランは、自然再生基本構想の中の「統合再生流域実施計画」の策定に反映させる。